

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	京田辺市児童デイサービス事業所「ふれあい教室」			
○保護者評価実施期間	令和6年10月2日 ～ 令和6年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数)	9人
○従業者評価実施期間	令和6年10月2日 ～ 令和6年10月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数)	9人
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門職による手厚い支援体制	・支援に関わる職員は、全員が専門職（保育士・公認心理師）で構成することで、専門的な支援の提供につとめています。また、施設内で定期的に研修を行ったり、外部の研修にも参加し知識を習得し、よりよいサービスの提供につなげています。	・今後も研修会を行ったり、外部の研修に参加し、職員の資質向上を図り、支援の充実につながるよう職員間で情報共有していきたいと思います。
2	・保護者支援	・日々の支援後、保護者に子どもの様子を伝えとともに、定期的に面談をし、必要な助言と支援が行えるようにしています。また、個人の連絡帳や保護者の話からも相談内容をくみとり、いつでも話ができるよう体制を整えています。	・今後も保護者の方さまざまな思いに寄り添いながら、個別対応を充実させたり、保護者同士で話し合える雰囲気を作っていきたいと思います。
3	・遊びを中心にグループに合わせた支援の提供	・毎回、支援後に職員で振り返りを行うとともに、グループと個人の記録をとり、支援の検証・改善につなげている。支援計画は職員全員で会議をもち、共通理解をし支援を行っています。	・一人一人の発達をとらえ、子どものやりたい、やってみたいという気持ちを大切にしながら、よりよい支援を提供できるよう、今後も職員間で話し合っていきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設の物的環境について	・施設の老朽化、場所がわかりにくい、園庭が狭く外遊びに工夫が必要。	・物的環境は改善がすぐに難しいですが、日々の清掃や消毒等を行い清潔な環境に努めています。また、今後樹木の伐採を行い建物の場所をわかりやすくしたいと思います。また、限られた場所で発達に応じた支援が行えるよう用具・道具の配置を工夫したり、近くの公園等に出かけるプログラム等の工夫を今後もしていきたいと思っています。
2	・親子通所のため、通所ににくい。	・保護者が仕事等で親子通所ができない。	・親子通所することで、保護者自身もいつでも安心して相談できたり、その日の療育内容の報告を見たり聞いたりして子どもの様子を共有していきたいと思っています。また、保護者同士のつながりも支援していきたいと思っています。
3			